



まちづくりびと ニュース 第10号

平成 22 年 1 月発行

<目 次>

- P 1 活躍が続く「日比野ひとまちネット」
- P 2 21 年度まちづくりびと養成講座終わる
- P 4 編集後記

活躍が続く「日比野ひとまちネット」

平成 20 年度のまちづくりびと養成講座を機会に発足した「日比野ひとまちネット」、平成 21 年度は熱田区の助成を受けた「あったか交流サロン」（月一回のペースで、いろいろな講師を招いて地域の課題を考えるサロン）の開催、それに名古屋都市センターのまちづくり活動助成（はじめの一步部門）を受けて、「食のイベント」を開催等、幅広い活動をしてきました。

このうち「食のイベント」の開催に参加して来ましたので報告します。

昨年、11 月 8 日に開催されたこのイベントは、日頃、話す機会の少ない地域の人たち同士が、食を通じてのコミュニケーションを図ろうと企画したイベントです。応募した 3 世代（小学生、大学生、高齢者）各 1 名でグループ（8 組）をつくり、「たこ焼づくり」に挑戦し、皆で食するという内容です。

昨年の講座修了生がこの企画を下支えするスタッフとなり、バンダナを被り、この企画を運営している姿が印象的でした。

「たこ焼づくり」というひとつの共通の目標をたて、それを作るのに挑戦しその成果を分かち合うことを通じて、無言のうちにも 3 世代の意思疎通が図れた体験ができました。日頃、面と向かい合って話し合う機会の少ない異年齢の方たちにとって、貴重な体験をすることができました。

（くわしくは、都市センターのホームページ「まちづくり日記」をご覧ください。）



平成21年度 まちづくりびと養成講座（入門編）

“住みよいまちってどんなまち？（全7回）”

この講座は、名東区と名古屋都市センターが共催で開催したもので、名東区高針学区をモデルとして、地域のまちづくりの手法を学び、体験する入門講座です。昨年10月から12月にかけて開催されました。今年でこの講座は4年目になりますが、旧高針街道沿いに名東区の中でも古くから開けたところで、棒の手の伝統芸能が現代でも引き継がれている一方、周辺は昭和40年代に土地区画整理で基盤整備され、新しい住民が多く住んでいるところです。高針学区内には、まとまった商業や工業はなく、ほぼ住宅地のみということで、まちづくりのテーマを“住みよいまちってどんなまち？”として開催しました。

今回は、平日の午前という時間帯を設定し、主婦や高齢者の方々に多くの参加者を期待したことも特徴のひとつでした。（27名の参加者がありました）

そして、今回の講座は実行委員会形式を取り、以前にも講座でお世話になった地域問題研究所の加藤さんにご助言をいただき、これまでのまちづくりびと養成講座修了生、名東区のまちづくりスタッフに声掛けし、それに名東区と名古屋都市センターで企画をしてきました。（講座取り組みの様子は、次ページをご覧ください。）講座修了生で、まちづくりびと仲間が19名加わりました、今後ともよろしくお願いします。





地元の方々も交えた、発表会の様子

編集後記

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

今年度のまちづくりびと養成講座が12月で終了し、ほっと一息つく間に新しい年を迎えてしまいました。そしてこれから、今年度のまちづくり助成の最終的な成果に向けての取り組みが続きます。これまで、市民団体が行うまちづくりに対する助成とまちづくりびと養成講座を2本柱として取り組んできたのですが、今回のニュースで紹介した「日比野ひとまちネット」の例のように、講座終了後、まちづくりびとが団体を作って、助成金を利用して活躍されるという、名古屋都市センターとしても喜ばしい形が出てきました。さらに、名古屋市では地域委員会という新しい合意形成の仕組みが立ち上がろうとしています。まちづくりびとの活躍できる場が、ますます増えてくるのではないかと期待しています。今後とも、皆さんのご活躍と、名古屋都市センターのご利用をよろしくお願いします。

(T. A)

■皆さんの活動など、ニュースに載せてもよい記事などがありましたら、お寄せください！

名古屋都市センター 調査課 まちづくり支援担当

<メンバー>安田、清水、雲林院、青山

〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目一番一号金山南ビル13階

TEL 052-678-2214 FAX 052-678-2211

E-mail shien@nui.or.jp